

「エネルギーグループ知的財産報告書（2016年2月）」の概要

【特集】「お客さまから選ばれ続けるために」（7～15頁）

これからも選ばれ続けるために、お客さまのニーズにしっかり応えていく。そのために、わたしたちは、色々な課題と向き合い、取り組んでいます。

その成果を3つの視点にまとめ、発明に携わった社員の声も添えて、紹介しています。

視点	紹介している成果や事例（抜粋）
「安心」と「信頼」	<p>【電気のあるあたりまえの暮らしをお届けする！】 配電線の故障箇所発見を容易にする技術</p> <p>【お客さまの個人情報を守る！】 スマートメーターへのIPアドレス付与手段の工夫</p> <p>【安全性と作業性の両立！】 メーターの取り替え作業を安全に行うための工夫</p>
「安価」	<p>【電気のおトクな使い方をお手伝い！】 ご家庭向け節電アドバイスツールの開発</p> <p>【電力会社・お客さま一体で、低廉な料金を追求！】 需給一体制御による発電コスト低減</p>
「新たな価値」	<p>【「お客さまの声」を聴き、よりよい「つながり」を作る！】 カスタマーセンターを支える情報管理システム</p> <p>【「自然の恵み」を上手にいただくお手伝い！】 再生可能エネルギーによる発電をより活かせる仕組みの開発</p> <p>【「さあ、電気を選ぼう」新たな料金メニュー，サービスをご用意！】 お客さまと当社をつなぐ絆となるブランド訴求・保護の取り組み</p>

1. 電気事業を支える基盤技術と特許の関わり（16～20頁）

良質で低廉な電気の安定供給に欠くことのできない基盤技術（発送配電に関する技術やこれを支える技術）の具体例について紹介しています。

また、基盤技術と特許の関わり（当社グループの特許出願の目的）、特許の価値の定量的評価の考え方等を紹介しています。

当社保有特許の価値の定量的評価については、「参考1」を参照ください。

2. 研究・開発への取り組みと独自技術（21～25頁）

研究・開発戦略として、「安全確保」を大前提に、「供給安定性」「経済性」「環境保全」を同時達成するため、新たな価値創造に取り組んでいること（重点開発分野とその具体例等）について紹介しています。

3. 知財戦略の基本理念と推進体制（26～30頁）

エネルギーグループの知財戦略の基本的な考え方や基本理念、知財戦略推進体制等について紹介しています。

また、当社の知財活動は、研究開発部門のみならず、営業所・発電所・電力所等の現業機関の社員も積極的に発明を創出していることが特長であり、その事例として「電工作業用手袋」を紹介しています。

さらに、グループ企業の知財活動への取り組みについて、テンパール工業株式会社の事例を経営者メッセージとともに紹介しています。

当社の知財活動の実績は「参考2」を参照ください。

4. 知財リスクへの対応（31～32頁）

知財戦略推進の基本理念の一つである「他者の権利の尊重」や、コンプライアンス最優先という考え方に基づいて、知財リスクに対して日常業務でどのように対応しているか、権利確保の取り組み事例や他者権利侵害リスクに関する教育の事例を紹介しています。

5. 商標への取り組み（33～34頁）

「特許権」とならび重要な知的財産に「商標権」があります。エネルギーグループでは、お客さまとの接点である「シンボルマーク」や「キャラクター」を商標として適切に権利化し保護することで、お客さまに安心して商品やサービスをお選びいただけるようにしていることを紹介しています。

6. CSRの取り組み（35～36頁）

知財面でのCSRの取り組みとして、当社の火力発電ノウハウを活用した国際貢献活動、特許を活用した東日本大震災の復興支援活動、および地域の人材育成や産業活性化支援等の地域貢献活動を紹介しています。

【活動報告】「EnerGia IP[※] Activity 2015 -知財活動の概観-」（37～38頁）

特許の価値の定量的評価、特許出願・登録件数・登録率の推移、発明者人口の推移、海外への出願件数など、知財活動を通じて創出された知的財産の実績に関する定量的なデータをまとめて紹介しています。

※ IP: Intellectual Property (=知的財産)